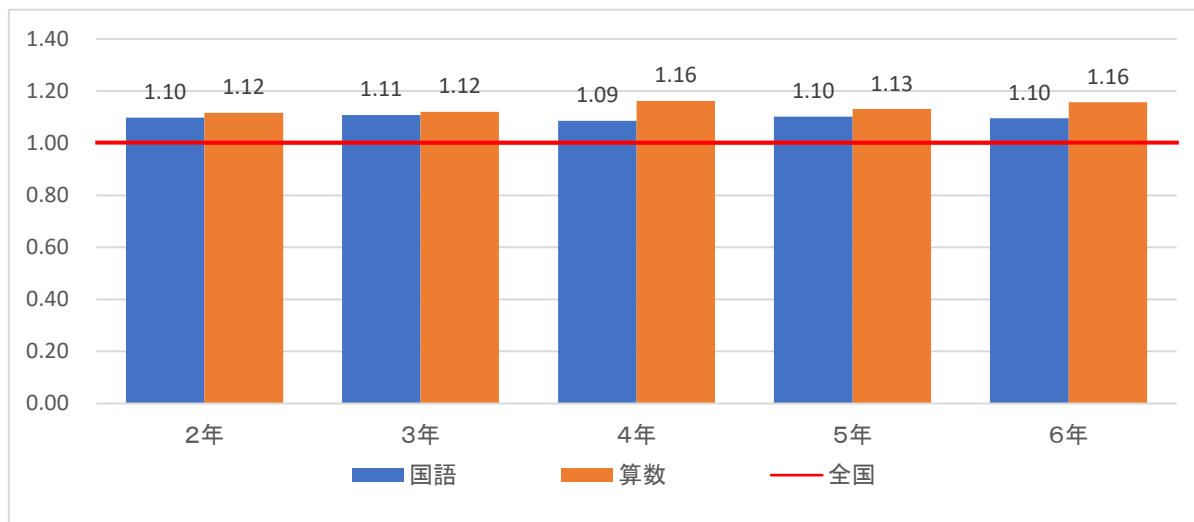


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第十中学校区 宇谷小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	どの学年も全国平均を上回っており、学力については概ね良い傾向であると考えられる。しかし、ローマ字や漢字の定着に課題が少し見られた。今後は、辞書引きや読書等、日常的に語彙を増やす取組を実践していく。
	算数	どの学年も全国平均を上回っており、学力については概ね良い傾向であると考えられる。しかし、立式や単位換算、作図問題に課題が見られた。今後は、答えの理由を問う問題等、論理的思考力を育成していく。
全国学力・学習状況調査	国語	全国平均を上回っており、学力については概ね良い傾向である。「言葉の特徴や使い方に関する事項」で得点が高く、文の中における主語・述語との関係を捉える問題について、的確に答えることができていた。今後も、自力で読むことを勧め、更なる読解力の向上をめざす。
	算数	全国平均を上回っており、特に「データの活用」領域の正答率は、全国比で高い数値にある。しかし、「図形」領域には課題が見られた。今後は、求積公式を活用し、求め方を思考・表現する力を身につけさせていく。
	質問紙	「将来の夢や目標を持っていますか」「先生はあなたの良い所を認めてくれていますか」の設問に対して、肯定的な回答割合が全国平均を上回った。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

中学校区として、ねやがわスタンダードに即した授業展開の中で褒める、認めるなどの声掛けや道徳の時間・ディベート教育を通して、論理的思考と非認知能力の向上を図ることで、「確かな学力」を身に付けた子どもの育成をめざしていく。

【 学 校 】

論理的思考力を育むため、道徳の時間やディベート授業など、教育活動全体を通して、理由を考える課題にチャレンジしていく。また、自己肯定感を醸成する取組を今後も積極的に行い、主体的に学ぶことで将来にわたって生きて働く力となる学力を身に付けさせることに注力していく。